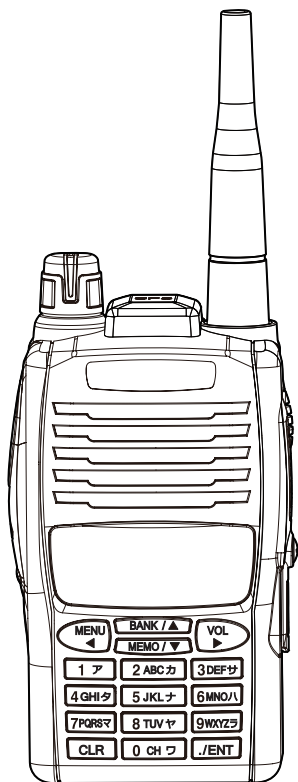
FIRSTCOM

GPS 搭載ワイドバンドレシーバー

FC－S789

取扱説明書 ＜保証書付＞

ＦＣ－Ｓ789をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いします。
また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

目　次

安全上のご注意とお知らせ　（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を正しくお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を記載しています。

安全上のご注意

誤った使い方による危害や損害の大きさを「⚠警告」と「⚠注意」に区別し、お守りいただく内容を絵表示で説明しています。

絵表示について

⚠ の表示は注意を促す内容があることを表しています。
⃠ の絵表示は行為の禁止（してはいけない）内容を表しています。
❗ の絵表示は行為の指示･強制（しなければいけない）内容を表しています。

⚠警告

警告を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性があります。

自動車、自転車など乗り物を運転中に操作しないでください。
運転中の操作は交通事故の原因になります。

人ごみの中では使用しないでください。
アンテナなどが他の人に当たり、けがの原因になります。

風呂場などの水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。
本機は防水構造ではではありませんので、水がかかった場合はすぐにふき取ってください。

分解や改造はしないでください。
本機は精密部品を多数搭載していますので、分解や改造を加えますと故障・感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら本機の使用を中断してください。
感電の原因となります。

定格以外の電圧で使用しないでください。
異常に発熱し、火災や感電、故障の原因になります。

シガープラグコードを使用する場合は、指定以外のものは使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

シガープラグコードを傷つけたり、加工しないでください。
火災や感電の原因になります。

煙がでる、異臭がするなど異常な状態のまま使用しないでください。
火災や感電の恐れがあります。直ちに電源を切り電池やシガープラグコードを外してください。修理は販売店に依頼してください。

⚠注 意

注意を無視して誤った取り扱いをすると、傷害や物的損害を負う可能性があります。

振動や衝撃を加えないでください。
故障の原因になります。

テレビ・ラジオなどの電子機器から離れた場所で使用してください。
電波障害により正常に動作しない可能性があります。

規定範囲内の温度条件でお使いください。
規定外の温度内で使用すると異常動作や故障の原因になります。

電池は極性に注意して正しく入れてください。
間違えて入れると、電池の破裂・液漏れにより、けがや故障の原因になります。

新・旧の電池を混ぜて使用しないでくだい。
電池の破裂や液漏れにより、けがや故障の原因になります。

長時間ご使用にならない場合は、シガープラグコードを抜いてください。
感電や漏電火災の原因になります。

長時間ご使用にならない場合は、電池を取り外してください。
電池の液漏れにより故障の原因となります。

イヤホンをご使用になるときは、音量に注意してください。
大きな音量で長時間続けて聞いていると、聴覚に障害を与える可能性があります。

お知らせ

● **電波法をお守りください。**
この製品を使用するのに特別な資格や免許は必要ありませんが、傍受した内容において電波法第５９条により**特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受し、その存在もしくは内容を第三者に漏らしたり窃用することが禁止されています。**厳重に注意してください。

使用上の注意

● 本機は日本国内向けの仕様となっています。海外ではご使用になれません。

● 音声や雑音とは違う信号音を受信することがあります。
本機はアナログ通信を受信対象としていますので、デジタル通信や制御チャンネル通信は音声で聞くことはできません。

● 内部干渉により指定帯域外の電波を受信することがあります。

● 使用場所により受信できない場合があります。
地下の駐車場やトンネル内などの電波が遮断された場所、電波のとどかない山間部、強い電波が発信されている放送局の近辺では受信電波やGPSを受信できない場合があります。

主な特長

● **65MHz ～ 1300MHz、134MHz ～ 470MHz の高感度受信機**
受信機能をコンパクトボディに集約。A バンドで 65MHz ～ 470MHz、770MHz ～ 1300MHz のワイドな情報を高感度でキャッチします。また、B バンドは 134MHz ～ 174MHz、200MHz ～ 260MHz、320MHz ～ 470MHz を受信できます。

● **２波同時受信**
異なるバンドを選んで 2 波同時受信できます。

● **聞きたい受信エリアを簡単受信**
受信エリアをジャンル別に分けてプリセットバンクに登録していますので、聞きたい受信エリアを簡単に呼び出してオートサーチします。

● **多彩で実用的なメモリーバンク**
チャンネルメモリーは最大800チャンネル、エリアメモリーは最大10エリアをメモリーバンクに登録できます。その他不要なチャンネルを回避するパスメモリーも搭載しています。

● **音声ガイド機能搭載**
特定のチャンネル（盗聴電波や警察無線など）を受信した場合は、音声ガイドで受信をお知らせします。

● **検問モード**
検問モード中は複数の警察関係の無線を受信した場合、検問が行われている可能性が高いと判断して、液晶バックライトと音声ガイドで警告します。

● **盗聴電波専用エリア搭載**
無線式盗聴器によく使用されているチャンネルと全チャンネルをそれぞれ専用エリアに搭載しています。

● **全国の防災・行政・消防・救急無線専用エリア搭載**
災害や事故現場などで飛び交う生情報をいち早くキャッチできます。

● **GPS チューナー内蔵**
GPS を内蔵しており下記動作が可能です。
・ドライブモードでのオービス警報
・オリジナル受信エリア登録
・LOG データ 10 件まで最大 120 分保存

● **ドライブモード搭載**
GPS 機能により、オービス警報や各種表示を行います。

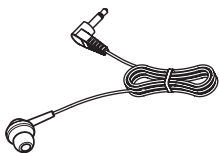
● **USB 端子を装備**
LOG データの出力ができます。

● **録音・再生機能**
受信中の音声や、メモとしてマイク音声を録音できます。

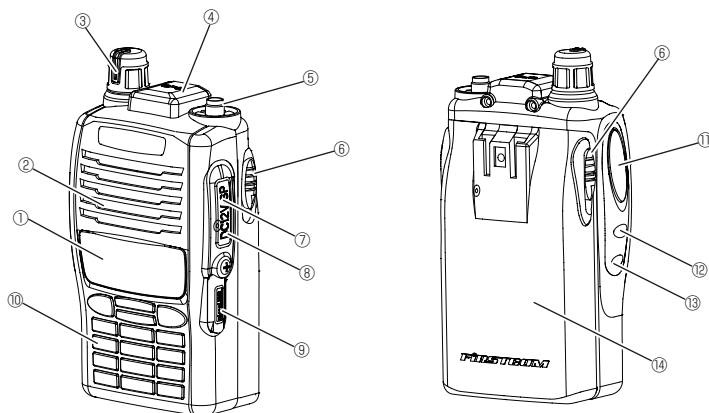
梱包内容

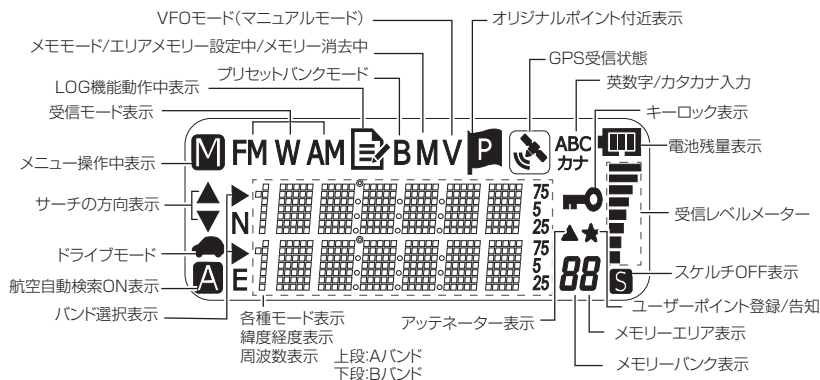
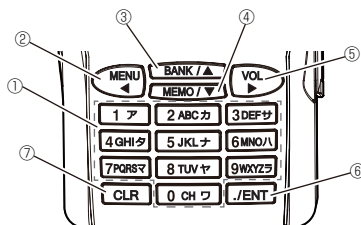
受信機本体

ラバーアンテナ

ベルトクリップ

イヤホン

取扱説明書（保証書）

各部の名称とはたらき

① **液晶ディスプレイ**	周波数・チャンネルステップ・受信モードなどの表示や各動作モードを表示します。
② **スピーカー**	音声ガイド・受信音声を出力します。
③ **エンコーダー**	受信周波数や各種機能の設定に使用します。
④ **GPS チューナー**	GPS 電波を受信します。
⑤ **アンテナ入力端子**	付属のラバーアンテナを接続します。
⑥ **カバーロック**	バッテリーケースを取り外す場合に使用します
⑦ **イヤホンジャック**	付属のイヤホンを接続します。イヤホンを接続するとスピーカーからは音が出ません。
⑧ **外部電源ジャック**	別売のシガープラグコードを接続します。
⑨ **USB**	GPS データ / 音声データの書換え及び LOG データの出力を行います。
⑩ **キーパッド**	受信エリア・周波数などを指定するテンキーと各種機能ボタンがあります。
⑪ **スタート／ストップボタン**	オートサーチ（自動選局）の開始 / 停止をします。
⑫ **スケルチ OFF ボタン**	ボタンを押している間はスケルチを OFF します。
⑬ **電源ボタン**	電源を ON ／ OFF します。
⑭ **バッテリーケース**	単 4 形乾電池 6 本を収納します。

＜ディスプレイ表示内容＞

＜キーパッド＞

① **テンキー（数字キー）**	周波数・受信エリア番号・メモリーチャンネルの指定。ファンクションモード時は各機能ボタンとして使用します。
② **メニューボタン**	各種設定に移ります。
③ **バンク／アップボタン**	バンクモードに切替えます。
④ **メモ／ダウンボタン**	メモリーモードに切替えます。
⑤ **ボリュームボタン**	音量設定値を表示します。
⑥ **エンターボタン**	周波数の確定、各設定の完了を行います。 マニュアルモードに切替えます。
⑦ **クリアーボタン**	各種設定モードの解除を行います。また、周波数入力時の取消しを行います。

メニューボタンによる動作一覧（表１）

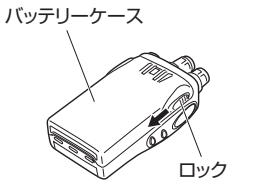
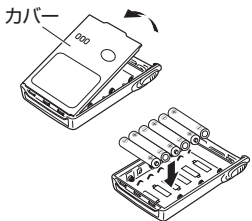
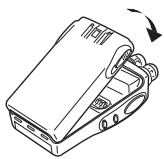
機能設定	
01　秘話反転（⇒ P45）	17　KT（キートーン）　ON/OFF(⇒ P50)
02　録音 (⇒ P53)	18　ディレイ時間設定　ディレイ / ホールド (⇒ P28)
03　チャンネルステップ設定 (⇒ P26)	19　DC 動作　ON/OFF(⇒ P13)
04　アッテネーター ON/OFF(⇒ P27)	20　音量バランス設定 (⇒ P21)
05　スケルチ値設定 (⇒ P17)	21　空港自動検索　ON/OFF(⇒ P46)
06　マイクからの音声録音 (⇒ P53)	22　空港メモ登録 (⇒ P22)
07　バックライト点灯 (⇒ P49)	23　B バンド電源　ON/OFF(⇒ P22)
08　オリジナルポイント登録 (⇒ P63)	24　メモエリア名変更 (⇒ P36)
09　パスメモリー登録 (⇒ P35)	25　GPS 登録ポイント全消去 (⇒ P63)
10　操作バンド選択 (⇒ P21)	26　パスメモリー個別消去 (⇒ P41)
11　エリアメモリー登録 (⇒ P33)	27　パスメモリー全消去 (⇒ P52)
12　プログラム受信登録 (⇒ P42)	28　チャンネルメモリー全消去 (⇒ P28)
13　オートスタート時間設定 (⇒ P50)	29　メモリーエリア消去 (⇒ P40)
14　バックライトカラー設定 (⇒ P49)	30　メモリーオール消去 (⇒ P52)
15　バックライト点灯時間設定 (⇒ P49)	31　機能設定・データー全消去 (⇒ P51)
16　音声ガイド　ON/OFF(⇒ P48)	32　使用電池設定　カンデンチ /Li イオン (⇒ P57)
GPS 機能設定	
41　AAC 設定　ON/OFF(⇒ P59)	43　ALARM 設定　buzzer/melody(⇒P61)
42　道路種設定　Hiway/City/ALL(⇒ P60)	44　GPS 電源設定 ON/OFF(⇒ P62)
録音設定	
51　録音再生 (⇒ P54)	53　録音データ個別消去 (⇒ P55)
52　録音データ名登録 (⇒ P54)	54　録音データ全消去 (⇒ P56)
LOG 機能設定	
61　LOG データーファイル作成 (⇒ P64)	63　LOG ファイル名変更 (⇒ P66)
62　LOG データー受信間隔時間設定 (⇒P66)	64　LOG ファイル個別消去 (⇒ P67)

ご使用になる前に

▶ 電源について

本機の電源は別売の乾電池(単４形乾電池　６本)を使用します。アルカリ乾電池の場合は、受信待受時(間欠受信)で約24時間連続使用できます。また、別売のシガープラグコード(DC−3)により車のシガー電源(DC12V)、ACアダプター(AC−1)により家庭用電源(AC100V)を利用することができます。

※シガープラグコード、ACアダプターを使用する場合は、必ず本機の電源を切ってから接続してください。

▶ 使用するバッテリーを設定する

本機は、乾電池または別売のLi-ion バッテリーパックを接続できます。

使用する電池に従って設定してください。詳しい設定方法は57ページをご覧ください。

▶ バッテリー残量表示

バッテリー残量を液晶ディスプレイ右上に表示します。

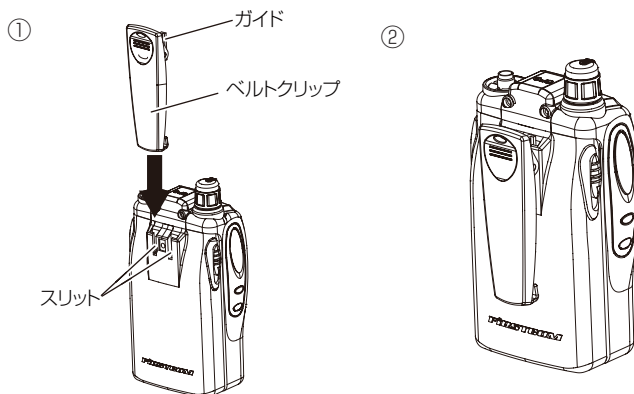
<table>
<tr><th>アイコン</th><th colspan="2">バッテリー残量</th></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">80%以上</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">50%以上</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">30%以下</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>乾電池</td><td>交換してください</td></tr>
<tr><td>リチウム
イオン電池</td><td>充電してください</td></tr>
</table>

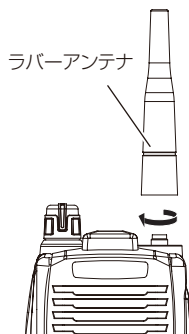
▶ 乾電池の入れ方

①バッテリーケースを取り外します。	②電池を入れます。	③バッテリーケースを取り付けます。
バッテリーケース両側面のロックをスライドすると、本体のロックが外れて、バッテリーケースが外れます。 	バッテリーケースのカバーを外し、単4形乾電池を6本、極性(+/−)を間違えないように入れて、カバーを元にもどします。 	バッテリーケースの爪を本体底面の穴に合わせ、「カチッ」とロック音がするまでバッテリーケースを押さえます。

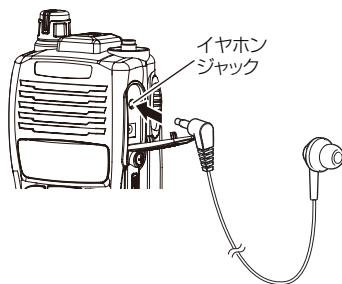
▶ ベルトクリップの取付け

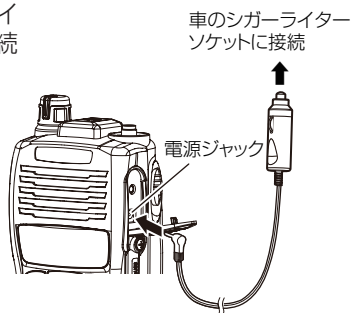
付属のベルトクリップは縦向きに取付けます。
①ベルトクリップのガイドを本体背面のスリットに合わせます。
②カチッと音がして完全にロックするまで下側へスライドさせてください。

①
②

▶ ラバーアンテナの取り付け方

本体上部のアンテナ端子に付属のラバーアンテナを合わせ、時計回り方向にねじ込んで固定してください。

▶ イヤホンで聞く場合

- イヤホンをご使用になる場合は、必ず音量を下げてからイヤホンを接続してください。
- 大きな音量で長時間続けて聞かないでください。

①音量を下げます。（⇒P17）
②本体側面のジャックカバーを開き、イヤホンジャックに付属のイヤホンを接続します。
③イヤホンを装着した後、適度な音量に調整してください。

▶ 車のシガー電源でご使用になる場合

車のシガー電源(DC12V)でご使用になるときは、別売のシガープラグコードをシガーライターソケットと本体側面の電源ジャックに接続します。

ちょっと一言

DC モード設定を“ON”にすると車のエンジンの始動で本機を起動させることができます。
DC モードを“ON”にするには、 [◀／MENU] + [VOL ／▶] + [VOL ／▶] + [エンコーダー] 【19 DCMODE】を選択して [./ENT] で決定します。 [エンコーダー] で“ON”を選択し、 [./ENT] で決定します。

ご注意 本体の外部電源入力はDC12V専用です。

マルチバンドレシーバー操作方法

本機にはバンクモード、メモリーモード、マニュアルモードの３種類のモードがあります。

(1) バンクモード(Aバンド/Bバンド)

BANK／▲ を押すとバンクモードになります。
バンクモードには、よく聞くエリアをAバンドは50エリア(5バンク×10エリア)、Bバンドは10エリア(1バンク×10エリア)に分けて登録してあります。(⇒P15)

(2) メモリーモード(Aバンド)

MEMO／▼ を押すとメモリーモードになります。
メモリーモードには、任意の周波数または周波数帯を登録可能です。(⇒P30)

(3) マニュアルモード(Aバンド/Bバンド)

./ENT を押すとマニュアルモードになります。
マニュアルモードでは、テンキー で入力した周波数を受信可能です。(⇒P23)

ステップ１ ＜簡単受信をしてみましょう＞

バンクモードには、50エリア(5バンク×10エリア)に分けて登録してあります。
受信したいエリアを、簡単に呼び出して受信できます。

バンクモードの登録エリア一覧（A バンド）

バンク	エリア番号	受信エリア
1	1	盗聴電波　9チャンネル
	2	盗聴電波　全チャンネル
	3	小電力コードレス電話
	4	アマチュア無線　140MHz 帯
	5	アマチュア無線　430MHz 帯
	6	アマチュア無線　1200MHz 帯
	7	ギャンブル無線
	8	コンサートワッチ
	9	各種業務無線・簡易無線
	0	警察高速隊
2	1	カーロケーター無線（デジタル受信）
	2	交通取締連絡無線
	3	警察 VHF 移動局（パトカー無線 , デジタル受信）
	4	警察部隊活動系（デジタル受信）
	5	警察署活系移動局（デジタル受信）
	6	取締特小無線（シートベルト）
	7	ヘリコプター無線（警察・消防・マスコミ）
	8	レッカー無線
	9	検問モード（一部デジタル受信）
	0	道路公団・JAF・警備
3	1	パーソナル無線
	2	パチンコ無線
	3	レース無線・サーキット無線
	4	MCA 無線 800MHz 帯
	5	MCA 無線 900MHz 帯
	6	航空無線
	7	航空機公衆電話
	8	航空機無線軍用
	9	自衛隊基地内連絡波
	0	タクシー無線

バンク	エリア番号	受信エリア
4	1	バス・鉄道・ライフライン（一部デジタル受信）
	2	ＦＭラジオ放送
	3	報道連絡波・特定小電力トランシーバー
	4	防災行政無線（下表参照）
	5	航空無線
	6	消防・救急（北海道地区）
	7	消防・救急（東北ー北陸地区）
	8	消防・救急（関東ー東海地区）
	9	消防・救急（中部ー近畿地区）
	0	消防・救急（四国ー中国ー九州地区）
5	1	AIRPORT　マニュアル設定
	2	東京国際空港（45 チャンネル）
	3	成田国際空港（34 チャンネル）
	4	横田飛行場（26 チャンネル）
	5	厚木飛行場（31 チャンネル）
	6	入間飛行場（28 チャンネル）
	7	立川飛行場（23 チャンネル）
	8	関西国際空港（33 チャンネル）
	9	中部国際空港（23 チャンネル）
	0	AUTO AIRPORT

主に使用されている防災行政無線の周波数一覧（参考）

1	68.205MHz	11	68.580MHz	21	69.090MHz	31	69.435MHz
2	68.220MHz	12	68.595MHz	22	69.105MHz	32	69.450MHz
3	68.280MHz	13	68.610MHz	23	69.120MHz	33	69.465MHz
4	68.295MHz	14	68.805MHz	24	69.135MHz	34	69.480MHz
5	68.415MHz	15	68.820MHz	25	69.150MHz	35	69.495MHz
6	68.505MHz	16	68.835MHz	26	69.165MHz	36	69.705MHz
7	68.520MHz	17	68.850MHz	27	69.180MHz	37	69.720MHz
8	68.535MHz	18	68.865MHz	28	69.195MHz	38	69.735MHz
9	68.550MHz	19	68.880MHz	29	69.405MHz	39	69.750MHz
10	68.565MHz	20	68.895MHz	30	69.420MHz	40	69.765MHz

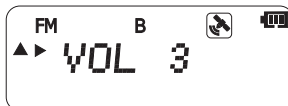
音量の調整とスケルチの調整

操作方法

1 **電源を入れます**

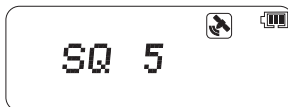
電源 の長押しで電源が入り、液晶ディスプレイに表示が出ます。

2 **音量を調節します**

VOL ／▶ を短押し、BANK／▲ または MEMO／▼ を押すか エンコーダー を回して、適度な音量に調節します。

3 **スケルチ調節モードにします**

スケルチ調節モードにするには、◀／MENU を押し、続けて VOL ／▶ を 2 回押し、エンコーダー を回して【05 スケルチ設定】を選択し、./ENT を押して決定します。

エンコーダー を回してザー音が止まる位置に調整します。

※ ◀／MENU ＋ テンキー 5 でも設定可能です

4 **./ENT を押して決定します**

ちょっと一言

スケルチの設定を大きくし過ぎると、オートサーチ中に弱い電波を受信できなくなります。
また、小さくし過ぎるとオートサーチしなくなります。

受信エリア内をオートサーチする

登録済みのエリアをオートサーチして、チャンネルを受信する。

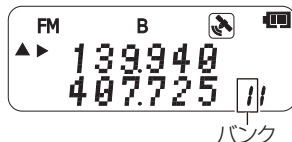
操作方法

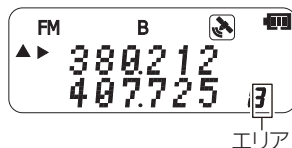
（例）バンク1のエリア3に登録してある小電力コードレス電話を、オートサーチして聞く。

1 A バンドにバンク1を指定します

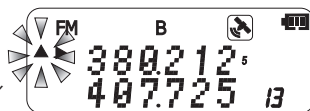
A バンドを指定します (⇒ P21)

バンクを指定するには BANK／▲ を押してください。

BANK／▲ を押すたびにバンクが1→2→3→4→5→1→…と替わります。

2 エリア3を指定します

エリアを指定するには テンキー の 3 を押します。

3 オートサーチします

START/STOP を押すとオートサーチを開始します。

オートサーチが開始されると、液晶ディスプレイ上の A バンドの周波数表示横の“▲”マークが点滅します。

ちょっと一言

“▲”“▼”はサーチ方向を表します。
“▲”マークは周波数が小さいものから大きいものへ、“▼”マークは周波数が大きいものから小さいものへ順にサーチします。オートサーチの方向は、 エンコーダー で変更できます。

4 チャンネルを受信します

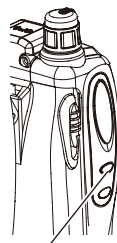
通話中のチャンネルがあると、そのチャンネルでオートサーチを停止し、受信状態になります。

受信した電波の強さに応じてレベルメーターが点灯します。

5 受信が終了すると再度オートサーチを開始します

受信中のチャンネルが終了する、または電波が非常に弱くなって受信できなくなると、設定された時間分待機した後、オートサーチを再開します。

受信状態が悪くなって音声が途切れる場合は、スケルチOFFボタンを押してください。
ボタンを押している間は受信状態が改善することがあります。
スケルチがOFF時はディスプレイに“ S ”と表示されます。

※スケルチOFFの間は選択していないバンドの音声は出力されません。
※本機では、音声反転式コードレス電話での会話が解読できます。(⇒P45)

スケルチOFFボタン

ご注意
ディレイ時間がHOLD設定の場合、または“▲”“▼”マークが消えている場合はオートサーチを再開しません。
オートサーチを行う場合は START/STOP を押してください。
受信が終了する前にオートサーチを再開したい場合は START/STOP を押してください。

ちょっと一言
チャンネル受信終了後オートサーチを再開するまでの時間をディレイ時間と言います。
ディレイ時間の設定(P)によって電波受信終了後のオートサーチ再開までの時間を変更可能です。
・2SEC/6SEC /10SEC/HOLD

受信エリア内をマニュアルサーチする

登録済みのエリアをマニュアル操作でサーチします。

操作方法

1 「① **音量の調整とスケルチの調整**」(P17)**を参照してください**

2 **バンクを指定します**

3 **エリアを指定します**

4 **マニュアルサーチします**

受信チャンネルを変更するには、**エンコーダー**を回してください。
設定されたチャンネルステップ毎に受信チャンネルが移動します。
時計回りはチャンネルがアップ、反時計回りはチャンネルがダウンします。

2 バンドで使用する

本機は B バンドを ON にして同時受信が可能です。

操作方法

1 B バンドの電源を ON にします

B バンドの電源を ON にするには、

[◀／MENU] を押し、続けて [VOL ／▶] を 2 回押し、次に [エンコーダー] で【23 RCVR2 POWER】を選択し、[./ENT] で決定します。

[エンコーダー] を回して ON を選択します。

[エンコーダー] を回すたびに、ON → OFF → ON… と切替わります。

2 [./ENT] を押して決定します

ちょっと一言

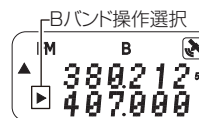
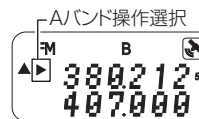
電池の消耗を抑えたい時は、B バンドの受信機能を OFF にすることをお勧めします。B バンドを OFF にする時は、A バンド操作選択時に行なってください。

操作するバンドを選択する

本機では A バンド・B バンドそれぞれ異なったバンドを受信するため、設定時に操作するバンドを選択します。

操作方法

1 [◀／MENU] を押し、[テンキー] の [0] を押してください。

押すたびに、選択中のバンドに“▶”マークが移動します。

ご注意

A バンド操作は、バンク [1]～[5]・メモ [1]～[4]・マニュアルモードを操作できます。

B バンド操作は、バンク [6]・マニュアルモードを操作できます。

音量バランスの調整

本機は 2 バンド同時受信が可能です。聞き取りづらい時など、一方の受信音を小さく設定します。

操作方法

1 現在選択していない方のバンドの受信音を小さくします

選択していないバンドの音量を小さくするには、[◀／MENU] を押し、続けて [VOL ／▶] を 2 回押し、次に [エンコーダー] で【20 SMALL SOUND】を選択し、[./ENT] で決定します。

[エンコーダー] を回して ON を選択します。

[エンコーダー] を回すたびに、ON → OFF → ON…と切替わります。

2 [./ENT] を押して決定します

ちょっと一言

設定しても受信音が聞きづらい場合は [スケルチOFF] を押してください。
スケルチ OFF の間は選択していないバンドの音声は出力されません。

マニュアル入力受信

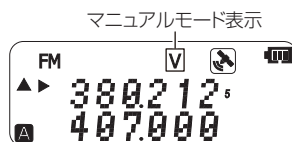
受信したい周波数を テンキー より入力し、ダイレクトにその周波数を受信します。

A バンド、B バンドそれぞれで設定可能です。操作バンドを指定してから、周波数を入力してください。操作バンド設定方法はｘｘページをご覧ください

操作方法

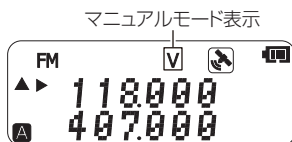
（例）118.000MHzのチャンネルをダイレクトに受信する。

1 マニュアルモードにします

./ENT を押します。
マニュアルモードに切り替わります。

2 受信したい周波数（118.000MHz）を入力します

本機の 1 1 8 ./ENT 0 0 0 ./ENT
と順に入力します。

3 入力した周波数を確定します

入力した周波数を確定するには、 ./ENT を押します。
入力したチャンネルで受信待ち受け状態になります。

ちょっと一言

入力した周波数がチャンネルステップと一致しない場合、チャンネルステップは周波数と一致するものに変更されます。
たとえば、チャンネルステップが5KHzに設定されているときに450.0125MHzを入力すると、チャンネルステップは12.5KHzに変更されます。
登録済みのどのチャンネルステップとも周波数が一致しない場合は、周波数が自動修正されます。
登録されているチャンネルステップは、5KHz、6.25KHz、10KHz、12.5KHz、20KHz、25KHz、50KHz、100KHzの８種です。

ご注意 受信可能な周波数以外の入力は無効です。受信可能な周波数に自動的に変更されます。

受信モードの設定

受信モードをAM、FM(FMナロー)、FM-W(FMワイド),AUTOの４種類から選択できます。
本機はFMモードを「FM」、FM-Wモードを「FMW」と表示します。

＜ AUTO 時の受信モード＞

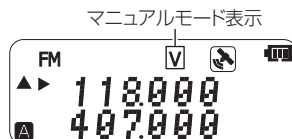
周波数	受信モード	周波数	受信モード
65.00 - 76.00 MHz 未満	FM-N	222.00 - 253.8625 MHz 未満	AM
76.00 - 90.00 MHz 未満	FM-W	253.8625 - 255.00 MHz 未満	FM-N
90.00 - 108.00 MHz 未満	FM-W	255.00 - 336.00 MHz 未満	AM
108.00 - 142.00 MHz 未満	AM	336.00 - 430.00 MHz 未満	FM-N
142.00 - 148.00 MHz 未満	FM-N	430.00 - 440.00 MHz 未満	FM-N
148.00 - 156.00 MHz 未満	FM-N	440.00 - 459.50 MHz 未満	FM-N
156.00 - 157.45 MHz 未満	FM-N	459.5 - 462.50 MHz 未満	FM-N
157.45 - 160.60 MHz 未満	FM-N	462.5 - 465.00 MHz 未満	FM-N
160.6 - 160.975 MHz 未満	FM-N	465.00 - 770.00 MHz 未満	FM-N
160.975 - 161.50 MHz 未満	FM-N	770.00 - 915.00 MHz 未満	FM-N
161.5 - 162.90 MHz 未満	FM-N	915.00 - 1260.00 MHz 未満	FM-W
162.9 - 169.00 MHz 未満	FM-N	1260.00 - 1300.00 MHz 未満	FM-N
169.00 - 222.00 MHz 未満	FM-W		

操作方法

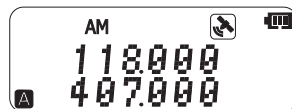
（例）マニュアルモードで受信モードをFMからAMに切替えてオートサーチする。

※受信モードの切替えは、A バンドのみ行えます。

1 マニュアルモードにします

［./ENT］を押します。
マニュアルモードに切り替わります。

マニュアルモード表示

2 受信モードをＡMに変更します

受信モードを変更するには、［◀／MENU］を押し、続けて［BANK／▲］を押します。
［◀／MENU］→［BANK／▲］を押すたびに、受信モードが AUTO → FM → FMW → A M → AUTO → …と切替わります。

3 オートサーチします

［START/STOP］を押すとオートサーチが開始します。

4 マニュアルモードを解除するときは［BANK／▲］を押します。

マニュアルモードからバンクモードに切替ります。

> **ご注意**
> 受信エリアと受信モードがあっていない場合、音声を正常に受信できません。この場合、正常な音声で聞こえるように、受信モードを切替えてください。

チャンネルステップの設定

チャンネルステップを 5、6.25、10、12.5、20、25、50、100KHz、AUTO の中から選択できます。

AUTO 設定では周波数に応じて、自動的にチャンネルステップを変更します。AUTO 設定は A バンドのみ設定できます。

< AUTO チャンネルステップ>

周波数			ステップ幅	周波数			ステップ幅
65 .00	-	75 .00	5 KHz	161 .50		162 .875	25 KHz
76 .00	-	89 .00	100 KHz	162 .90	-	168 .89	10 KHz
90 .00	-	107 .00	50 KHz	169 .00	-	221 .95	50 KHz
108 .00	-	141 .00	25 KHz	222 .00	-	253 .800	100 KHz
142 .00	-	147 .00	10 KHz	253 .8125	-	254 .9875	12.5 KHz
148 .00	-	15 .00	10 KHz	255 .00	-	335 .90	100 KHz
156 .00	-	157 .45	25 KHz	336 .00	-	429 .9875	12.5 KHz
157 .45	-	160 .60	10 KHz	430 .00	-	439 .995	5 KHz
160 .60	-	160 .975	25 KHz	440 .00	-	459 .4875	12.5 KHz
160 .975	-	161 .00	25 KHz	459 .50	-	462 .475	25 KHz

操作方法

（例）マニュアルモードのチャンネルステップを6．25KHzに変更して
オートサーチする。

1 **マニュアルモードにします**

./ENT を押します。

2 **マニュアルモードに切替わります。**

3 **チャンネルステップを 6.25KHz に変更します**

チャンネルステップを変更するには、
◀／MENU を押し、続けて VOL ／▶ を 2 回押し、次に エンコーダー で【03 STEP】を選択し、
./ENT で決定します。
エンコーダー を回して 6.25 を選択します。
エンコーダー を回すたびに、
6.25 →…50 → 100 → AUTO → 5 →…と切替わります。

※ ◀／MENU ＋ テンキー 3 でも設定可能です

4 **./ENT を押して決定します**

5 **オートサーチします**

START/STOP を押すとオートサーチが開始します。
マニュアルモード時、チャンネルステップが 6.25KHz でオートサーチします。

ご注意
マニュアルモード以外では設定できません。
チャンネルステップが、受信エリアのステップ（初期設定のステップ）と合っていないと、受信できなくなる場合があります。

マニュアル操作

ディレイ時間の設定

オートサーチ時のディレイ時間（受信待ち時間）を 2 秒、6 秒、10 秒、ホールドから切り替えることができます。
オートサーチ時に受信が終了すると、設定した時間が経過した後オートサーチを再開します。

操作方法

（例）バンク[1]・エリア1のディレイ時間を１０秒に変更してオートサーチする。

1 **バンク[1]・エリア１を呼び出します**

操作方法は「ステップ１　① **受信エリア内をオートサーチする**」（P18）を参照してください。
バンク[1]・エリア 1 は、初期のディレイ時間が 6 秒になっています。

2 **ディレイ時間を選択します**

ディレイ時間を変更するには、[◀／MENU]を押し、続けて[VOL／▶]を 2 回押し、次に[エンコーダー]で【18 DELAY】を選択し、[./ENT]で決定します。

[エンコーダー]を回して 10 秒を選択します

[エンコーダー]を回すたびに、ディレイ時間が 2 秒 → … 6 秒 → 10 秒 → HOLD →…と切り替わります。

3 **[./ENT]を押して決定します**

ご注意　バンク[2]のエリア[9]とチャンネルメモリー登録したチャンネルでは、ディレイ時間の変更はできません。

4 **オートサーチします**

[START/STOP]を押すとオートサーチが開始します。
バンク[1]・エリア[1]をディレイ時間 10 秒でオートサーチします。

ちょっと一言

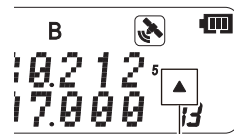
ディレイ時間をホールド“ＨＯＬＤ”に設定した場合は、オートサーチ中に一度電波を受信すると、受信を終了してもオートサーチを再開しません。

受信アッテネーターの設定

アッテネーターを使うことで、受信感度を下げることができます。
強い電波を受信した場合や、混信がひどいときにアッテネーターを ON にしてください。

操作方法

1 アッテネーターをＯＮにするには、［◀／MENU］を押し、続けて［VOL／▶］を２回押し、次に［エンコーダー］で【04 ATT】を選択し、［./ENT］で決定します。

［エンコーダー］を回して ON を選択します。
［エンコーダー］を回すたびに、ON → OFF → ON → …と切り替わります。
アッテネーターがＯＮになっていると▲マークが液晶ディスプレイに表示されます。

アッテネーターON表示

2 **［./ENT］を押して決定します**

設定	表示
ＯＮ	▲
ＯＦＦ	なし

ご注意
バンクモード中にアッテネーターONに設定した場合、エリアが変更されると設定が解除されます。
メモモード、マニュアルモード中にアッテネーターONに設定した場合、チャンネルが変更されると設定が解除されます。
また、電源のON/OFFでもアッテネーターONの設定は解除されます。

メモリーの構成と登録方法

本機では、メモリーバンク４をバンクに分けることにより、使用頻度や目的に応じてメモリー登録できます。
その他、不要な周波数をパスするパスメモリーがあります。

メモリーの構成

メモリーバンク	メモリー数	メモリー登録
1	10 エリア	チャンネルメモリー
2	10 エリア	チャンネルメモリー
3	10 エリア	エリアメモリー
4	10 エリア	プログラムメモリー

その他のメモリー	メモリー数	メモリー登録
パスメモリー	100 チャンネル	

メモリーの登録

メモリーバンクへのメモリー登録は、2 つの方法があります。

(1)周波数をグループ別にメモリー登録する【チャンネルメモリー】
　メモリーバンクのメモ[1]、[2]にメモリー登録します。
　[0]～[9]の 10エリアそれぞれに0～39CHまで40チャンネル登録できます。

(2)受信エリア(周波数範囲)をメモリー登録する【エリアメモリー】(⇒P33)
　メモリーバンクのメモ[3]にメモリー登録します。
　メモ[3]には[0]～[9]の 10エリア登録できます。

(3)まとめてサーチする複数のエリアをメモリー登録する【プログラムメモリー】(⇒P42)
　メモリーバンクのメモ[4]にメモリー登録します。
　メモ[4]には[0]～[9]の 10エリア登録できます。

グループ別チャンネルメモリーの登録と受信方法

特定の周波数をメモ[1][2]に登録することができます。
使用頻度や目的に応じて、グループ別に分類してメモリー登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。

メモリーの登録方法

（例）周波数76.100MHzを、メモ[1]のエリア[2]の10CHに登録する場合

1 周波数 76.100MHz を表示します

まず［./ENT］を押しマニュアルモードにします。
次に［7］［6］［./ENT］［1］［0］［0］［./ENT］の順に入力します。
入力を間違った場合は、［CLR］を押して再度入力してください。

2 チャンネルメモリー登録に入ります

チャンネルメモリー登録に入るには、
［MEMO／▼］を 1 秒以上押してください。
チャンネルメモリー登録に入ると、
液晶ディスプレイに“CH BLANK”と表示されます。

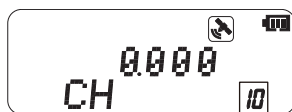
3 メモ[1]を指定します

メモ[1]を指定するには、バンク表示が点滅している状態で［MEMO／▼］を押してください。
を押すたびに、メモ[1]⇔[2]と交互に切り替わります。

4 エリア[2]を指定します

エリア[2]を指定するには、エリア表示が点滅している状態で［テンキー］の［2］ボタンを押した後、［./ENT］を押してください。

5 10CH を指定します

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点滅している状態で［エンコーダー］を回します。
［エンコーダー］を回し、10CH を選択します。

メモリー登録

6 **周波数を登録します**

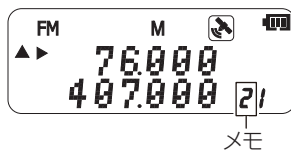
指定したチャンネルに登録するには、 ./ENT を押してください。

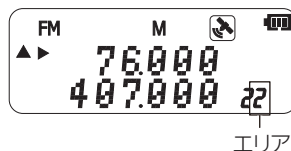
ご注意 すでにエリアメモリーが登録されているエリアに、チャンネルメモリーを登録した場合は上書きされます。

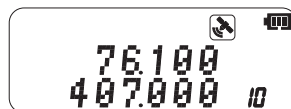
メモリーモードの受信方法

チャンネルメモリー登録した周波数を呼び出して受信します。
(例)メモ2のエリア2の10CHに登録した周波数を受信する場合

1 **メモ2を指定します**

メモ2を指定するには、バンク表示が点灯している状態で MEMO／▼ を押してください。
MEMO／▼ を押すたびに、メモ1→2→3→4…と切り替わります。

2 **エリア2を指定します**

エリア2を指定するには、エリア表示が点灯している状態で テンキー の 2 キーを押してください。

3 **10CH を指定します**

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点灯している状態で エンコーダー を回します。
エンコーダー を回し、チャンネルを 10CH に合わせてください。

※メモリーモードを終了するには BANK／▲ または ./ENT を押してください。

エリアメモリーの登録と受信方法

特定の受信エリア(受信周波数範囲)をメモ[3]エリア0～9の10エリアに登録できます。

メモリーの登録方法

(例)108.100～170.300MHzの範囲を、メモ[3]のエリア[5]に登録する場合

1 マニュアルモードにします

マニュアルモードにするには、[./ENT] を押します。

※ B バンドではエリアメモリー登録はできません。
Aバンドに切替えてから操作してください。(⇒PXX)

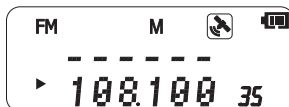
2 エリアメモリー登録モードに入ります

エリア登録に入るには、[◀／MENU] を押し、続けて[VOL／▶]を2回押し、次に[エンコーダー]で【11 AREA】を選択し、[./ENT] で決定します。

3 エリア[5]を指定します

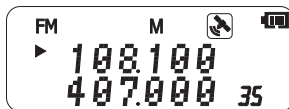
エリア[5]を指定するには、エリア表示が点滅している状態で[テンキー]の[5]キーを押した後、[./ENT]を押してください。

4 下限周波数 108.100MHz を入力します

[1][0][8][./ENT][1][0][0][./ENT]の順に入力します。

5 下限周波数を登録します

入力した下限周波数を登録するには、[./ENT]を押します。

上限周波数 170.300MHz を入力します

[1][7][0][./ENT] [3][0][0][./ENT]と順に入力します。

メモリー登録

6 上限周波数を登録します

入力した上限周波数を登録するには、 ./ENT を押します。

ちょっと一言

受信可能な受信エリアの範囲は、Aバンドは65MHz～470MHz、770MHz～1300MHz、Bバンドは134MHz～174MHz、200MHz～260MHz、320MHz～470MHzです。
エリア登録モードは20秒間の無操作で終了します。

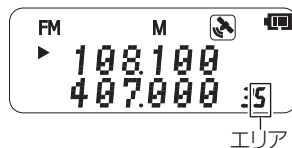
メモリーの受信方法

エリアメモリー登録した受信エリアを呼び出して受信します。
(例)バンク3のエリア5に登録した受信エリアを受信する場合

1 メモリーモードでバンク3を指定します

メモリーモードに入るには、 MEMO／▼ を押してください。
メモリーモード中に MEMO／▼ を押すと、バンク1→2→3→4…と切替わります。

2 エリア5を指定します

エリア5を指定するには、 テンキー の 5 を押してください。

3 オートサーチします

START/STOP を押すとオートサーチを開始します。

パスメモリーの登録

制御チャンネルなど、受信に不要な周波数をパスチャンネルに登録しておくと、オートサーチ中は登録した周波数をパスします。
パスメモリーは、最大100チャンネル(00～99CH)登録できます。

メモリーの登録方法

1 パスしたい周波数を表示します

バンクモードでパスしたい周波数を選択します。

2 パスメモリーに登録します

パスメモリーに登録するには、◀／MENUを押し、続けて VOL／▶ を2回押し、次にエンコーダーで【09 PASS】を選択し、./ENT で決定します。
登録が完了すると『パスメモリーを登録しました』とアナウンスします。

※◀／MENU＋テンキー 9 でも設定可能です

ご注意 マニュアルモードとメモリーモードではパスメモリーの登録は行えません。

メモリー登録

登録したメモリー名を変更する

登録済みのグループチャンネルメモリー、エリアメモリーの名前を変更できます。

メモリー名の変更方法

1 **名前を変更したいメモリーを表示します**

[MEMO／▼] を押してメモモードにします。

2 **変更モードにします**

メモリー名を変更するには、[◀／MENU]を押し、続けて[VOL／▶] を 2 回押し、次に[エンコーダー]で【24 MEMO RENAME】を選択し、[./ENT] で確定します。

3 **名前を入力します**

詳しくは 37 ページをご覧ください。

4 **[./ENT] を押して決定します**

文字入力のしかた

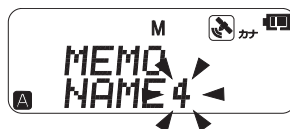
登録済みのグループチャンネルメモリー、エリアメモリー、録音データの名前を6文字で変更できます。

操作方法

（例）“トリシマリ２” と入力する

1 入力文字を設定します

BANK／▲を押して、“カナ文字” を選択します。

※点滅している位置に文字入力されます。

2 点滅文字を変更します

◀／MENU を押して、先頭の文字を点滅させます。

3 文字を入力する

① “ト” … テンキー の 4 を５回押す。
② “リ” … テンキー の 9 を２回押す。
③ “シ” … テンキー の 3 を２回押す。
④ “マ” … テンキー の 7 を１回押す。
⑤ “リ” … テンキー の 9 を２回押す。
⑥ BANK／▲ を押して “英数文字” を選択します。
⑦ １文字移動… VOL ／▶ を１回押す。
⑧ “２” … テンキー の 2 を４回押す。

4 ./ENT を押して決定します

＜英数文字入力表＞

操作キー	テンキーを押した時に入力される文字								
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
1	1	-	_						
2	A	B	C	2	a	b	c		
3	D	E	F	3	d	e	f		
4	G	H	I	4	g	h	i		
5	J	K	L	5	j	k	l		
6	M	N	O	6	m	n	o		
7	P	Q	R	S	7	p	q	r	s
8	T	U	V	8	t	u	v		
9	W	X	Y	Z	9	w	x	y	z
0	0								
BANK	英数 / カナ切替え								
CLR	文字消去・モード終了								
ENT	確定								

＜カナ文字入力表＞

操作キー	テンキーを押した時に入力される文字								
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
1	ア	イ	ウ	エ	オ				
2	カ	キ	ク	ケ	コ				
3	サ	シ	ス	セ	ソ				
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ			
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ				
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ				
7	マ	ミ	ム	メ	モ				
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ			
9	ラ	リ	ル	レ	ロ				
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜				
BANK	英数 / カナ切替え								
CLR	文字消去・モード終了								
ENT	確定								

メモリーの消去

メモリーバンクに登録した内容を消去することができます。

(1) チャンネルメモリーの個別消去

登録されているチャンネルを、個別に消去します。

操作方法

1 チャンネルメモリー消去モードにします

チャンネルメモリー消去モードにするには、◀／MENU を押し、続けて VOL／▶ を２回押し、次に エンコーダー で【28 CH CLR】を選択し、./ENT で決定します。

2 バンクを指定します

バンクを指定するには、 MEMO／▼ を押してください。

MEMO／▼ を押すたびに、バンク 1 ⇔ 2 と交互に切り替わります。

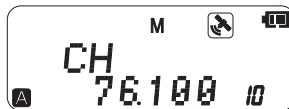
3 エリアを指定します

エリアを指定するには、エリア表示が点滅している状態で テンキー を押し、 ./ENT で確定します。

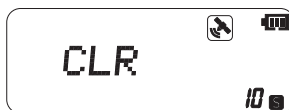
4 チャンネルを指定します

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点滅している状態で

エンコーダー を回します。

エンコーダー を回し、消去するチャンネルに合わせてください。

5 指定したチャンネルを消去します

チャンネルを消去するには、 ./ENT を押します。消去されると、『メモリーチャンネルを消去しました』とアナウンスします。

※連続消去する場合は 4 ～ 5 を繰り返します。

ちょっと一言

チャンネル消去モードを終了させるには、CLR を押してください。
また20秒間の無操作でも終了します。

(2) エリア消去

登録された受信エリアを消去します。
また、１つのエリアに登録されているチャンネルメモリーを一括して消去できます。

操作方法

1 **エリア消去モードにします**

エリア消去モードにするには、◀／MENU を押し、続けて VOL ／▶ を２回押し、次に エンコーダー で【29 AREA CLR】を選択し ./ENT で決定します。

2 **バンクを指定します。**

バンクを指定するには、バンク表示が点滅している状態で MEMO／▼ 押してください。
MEMO／▼ を押すたびに、バンク1→2→3→4→…と切替わります。

3 **エリアを指定します**

エリアを指定するには、エリア表示が点滅している状態で テンキー を押してください。

4 **指定したエリアを消去します**

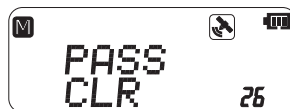
消去するには、./ENT を押してください。消去すると『メモリーエリアを消去しました』とアナウンスします。
※連続消去する場合は3～4を繰り返します。

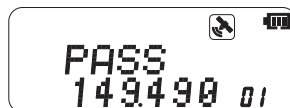
パスメモリーの消去

登録されたパスメモリーを消去します。

操作方法

1 パスメモリー消去モードに入ります

パスメモリー消去モードにするには、
［◀／MENU］を押し、続けて［VOL／▶］を２回押し、次に［エンコーダー］で【26 PASS CLR】を選択し、［./ENT］で決定します。

2 チャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、［エンコーダー］を回し、消去するチャンネル (周波数) を選びます。

3 指定したパスメモリーを消去します

消去するには、［./ENT］を押してください。
消去すると『パスメモリーを消去しました』とアナウンスします。
連続消去する場合は［2］～［3］を繰り返します。

4 パスメモリー消去モードを終了します

パスメモリー消去モードを終了するには、［CLR］を押してください。
また、無操作が約 20 秒間続いた場合、自然終了します。

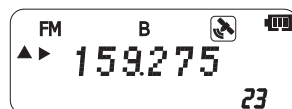
プログラム受信

プログラム受信を使うと複数のエリアをまとめてサーチできます。
例えば、バンク2のエリア3（警察VHF移動局）→バンク4のエリア1（バス・鉄道・ライフライン）→というように複数のエリアをまとめてサーチできます。プログラム受信登録は最大6エリアまで登録できます。

プログラムの登録方法

（例）バンク2エリア3とバンク4エリア1をメモ4のエリア2に登録する。

1 最初にバンクモードにします

BANK／▲を押し、バンクモードにします。
BANK／▲でバンク2を選び、テンキーの3を押してエリア3を選択します。

ご注意 マニュアルモードとメモリーモードではプログラム受信ができません。

2 プログラムを登録します

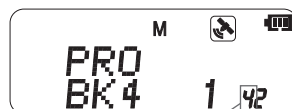
プログラム登録に入るには、◀／MENUを押し、次にVOL／▶を2回押し、次にエンコーダーで【12 PRGRM ENT】を選択し、./ENTで決定します。

3 プログラム登録するエリアを2を指定します

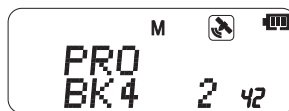
エリア2を指定するには、エリア表示が点滅している状態でテンキーの2を押した後、./ENTを押してください。
./ENTを押すとバンク2エリア3が登録されます。

4 バンク4を指定します

バンク4を指定するには、BANK／▲またはMEMO／▼で指定します。

バンク表示

5 **エリア[1]を指定します**

エリア[1]を指定するには、エリア表示が点滅している状態で［テンキー］の［1］を押すと登録されます。

※連続登録する場合は **4** ～ **5** を繰り返します。
最大 6 エリア登録できます。

> ［ご注意］同じエリアを複数回登録することはできません。

6 **プログラム登録を終了します**

プログラム登録を終了するには、［./ENT］を押します。

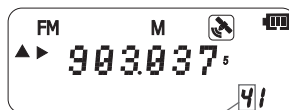
プログラムの受信方法

(例)メモ[4]のエリア[2]に登録したプログラムを読み出す。

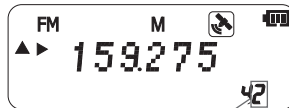
1 **メモリーモードにします**

［MEMO／▼］を押し、メモリーモードにします。

2 **メモ[4]を指定します**

メモ[4]を指定するには、［MEMO／▼］で指定します。

メモ表示

3 **エリア[2]を指定します**

エリア[2]を指定するには、［テンキー］の［2］を押します。

エリア表示

4 **サーチします**

オートサーチを開始するには、［START/STOP］を押します。
マニュアルサーチを開始するには、［エンコーダー］を回します。
バンク[2]エリア[3]を受信した場合、「効果音＋デジタル無線をキャッチしました。」と音声ガイドでお知らせします。

盗聴電波の受信

無線式盗聴器の発信電波は、特定の周波数帯が使用されています。
本機は、無線式盗聴器に使用されているＶＨＦ／ＵＨＦ帯のチャンネルをバンク1のエリア1、2に登録されています。
バンク1エリア1：無線式盗聴器によく使用されている周波数
バンク1エリア2：無線式盗聴器に使用されている全周波数

操作方法

1 盗聴電波を受信します

盗聴電波に受信エリア(バンク1のエリア1、2)を呼びだし、オートサーチまたはマニュアルサーチします。
操作については、「ステップ1　① **受信エリア内をオートサーチする**」(P.18)または「ステップ1　① **受信エリア内をマニュアルサーチする**」(P.20)を参照してください。
電波を受信した場合は音声でアナウンスします。

2 盗聴電波の強い方向を調べます

レベルメータがよく振れる方向へ進みます。

3 レベルメーターが振り切れたらアッテネーターをＯＮにします

レベルメーターが振り切れた場合は、アッテネーターをＯＮにしてください。(P.参照)
アッテネーターがＯＮになっていると▲マークが液晶ディスプレイに表示されます。

4 受信感度を落としながら、盗聴電波が強い方向を調べます

アッテネーターがONの状態でレベルメーターが振り切れた場合は、ラバーアンテナを外してください。

5 盗聴器に接近すると、再度レベルメーターが振れます。

6 レベルメーターが良く振れる場所の周辺を良く調べてみてください

ちょっと一言

本機は、ＶＨＦ/ＵＨＦ帯の無線を使用した盗聴器の発信電波を受信するものです。
盗聴器はその性質上、発見が難しい場所や、「こんなものが」と思うものに設置されています。
発見が難しい場合や、危険を伴う恐れがある場合は、専門の調査機関に依頼してください。

秘話通信（スクランブル）の解読

コードレス電話の秘話通信機能（スクランブル機能）は、おもに音声反転式が使用されています。秘話通信を受信する場合、そのままでは音声として聞くことができません。
本機は、コードレス電話の音声反転式秘話通信を解読することができます。

操作方法

1 秘話通信を受信します

小電コードレス電話波の受信エリア（バンク1のエリア3）を呼びだし、オートサーチまたはマニュアルサーチします。
操作については、「ステップ1　① **受信エリア内をオートサーチする**」（P.13）または「ステップ1　① **受信エリア内をマニュアルサーチする**」（P.15）を参照してください。
電波を受信した場合は音声でアナウンスします。

2 秘話反転機能をONにします

秘話反転をＯＮにするには、◀／MENU を押し、
続けて VOL／▶ を２回押し、次に エンコーダー
で【01 SB】を選択し、./ENT で決定します。

※ ◀／MENU ＋ テンキー 1 でも設定可能です

3 エンコーダー を回して調節します

エンコーダー を回して、音声が聞取りやすい位置に調節します。

ご注意　本機は、音声反転式以外の秘話通信を解読することはできません。

その他の機能

航空無線の受信

空港の無線を自動で受信したり、特定の空港を選んで受信できます。

航空無線を自動受信する

操作方法

1 **航空無線自動受信を ON します**

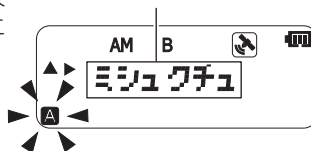
航空無線自動受信をＯＮにするには、
◀／MENUを押し、続けてVOL ／▶を２回押し、次にエンコーダーで【21 AIR AT PORT】を選択し、./ENTで決定します。
エンコーダーを回して、ON に合わせ./ENTで決定します。

エンコーダーを回すと航空無線自動受信の設定がＯＦＦ→ＯＮ→ＯＦＦ→…と切替わります。
ON 設定時は “A” が点灯します。

2 **無線を受信します**

空港エリア半径10km以内に入ると、『空港無線エリアに入りました』とアナウンスし空港名を表示し、該当周波数をオートサーチします。空港エリア半径１０ｋm以内では “A” が点滅します。
また、受信した電波の強さに応じてレベルメーターが点灯します。
エリアから外れると、『航空無線エリアから外れました』とアナウンスします。
※GPS未測位時は機能できません。

半径10km以内の空港名

ご注意

GPS受信 “OFF” 設定時は、設定できません。
空港エリア半径 10km 以内の表示中は、通常操作は無効です。
通常操作を行うには、CLR を押して表示を終了させてください。
表示中のＢバンド操作は、選択バンドを切替えてから行なってください。(⇒Pxx)

航空無線の選択受信

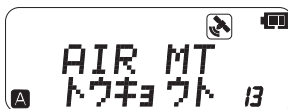
（例））東京都の東京国際空港で使用される周波数帯を選択して受信する。

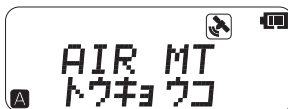
操作方法

1 航空無線を選択して受信するには、◀／MENU を押し、続けて VOL／▶ を２回押し、次に エンコーダー で【22 AIR MT PORT】を選択し、./ENT で確定します。

AIR MT
PORT 22

2 **選択する空港のある都道府県を選択します**

東京都を選択するには、エンコーダー で【13　トウキョウト】を選択し、./ENT で決定します。

3 **東京国際空港を選択します**

空港を選択するには、エンコーダー で【トウキョウコクサイ】を選択し、./ENT で決定します。

4 **無線を受信します**

START/STOP を押してオートサーチをするか、エンコーダー を回してマニュアル受信します。

音声ガイド機能

特定エリアの受信時、パスメモリーやユーザーメモリー登録時など音声でお知らせします。
音声ガイド機能は、必要に応じてＯＮ／ＯＦＦを切替えられます。

操作方法

1 **音声ガイド機能のＯＮ／ＯＦＦを切替えます**

音声ガイド機能のＯＮ／ＯＦＦを切替えるには、◀／MENU を押し、続けて VOL ／▶ を2回押し、次に エンコーダー で【16 GUIDE】を選択し、./ENT で決定します。
エンコーダー を回して ON/OFF を選択します。
エンコーダー を回すたびに、ON→OFF→ON…と切替わります。

M
GUIDE
16

2 **./ENT を押して決定します**

バックライト点灯機能

・点灯時間設定：5 秒・10 秒・20 秒・常時点灯 の中から設定できます。
・点灯色設定　：バックライトの照明色を赤、青、紫の中から設定できます。
・点灯機能　　：【点灯時間設定】で設定している時間点灯後、消灯します。

操作方法

バックライト点灯時間を設定する

1 **バックライト点灯時間を設定します**

［◀／MENU］を押し､続けて［VOL ／▶］を2回押し､次に［エンコーダー］で【15 LIGHT TIME】を選択し､［./ENT］で決定します。
［エンコーダー］を回して点灯時間を選択します。
［エンコーダー］を回すたびに、5秒→10秒→20秒→常時点灯→5秒…と切替わります。

M
LIGHT
TIME 15

2 ［./ENT］**を押して決定します**

バックライト点灯色を設定する

1 **バックライト点灯色を設定します**

［◀／MENU］を押し、続けて［VOL ／▶］を2回押し、次に［エンコーダー］で【14 LIGHT COLOR】を選択し、［./ENT］で決定します。
［エンコーダー］を回して点灯色を選択します。
［エンコーダー］を回すたびに RED → BLUE → PURPLE → RED…と切替わります。

2 ［./ENT］**を押して決定します**

バックライトを点灯する

1 **バックライト点灯モードを選択します**

［◀／MENU］を押し､続けて［VOL ／▶］を2回押し､次に［エンコーダー］で【07 LIGHT】を選択し､［./ENT］で点灯します。

※［◀／MENU］+［テンキー］［7］でも設定可能です

オートスタート機能

オートサーチ時、チャンネル受信後、設定した時間経過するとサーチを開始します。
設定時間は、2 秒、6 秒、10 秒から選択できます。

操作方法

1 オートスタートの設定をします

オートスタートの設定をするには、
◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を2回押し、次に エンコーダー で【13 AUTOST】を選択し、./ENT で決定します。

エンコーダー を回して時間を選択します。
エンコーダー を回すたびに、2 → 6 → 10 → 2 → …と切替わります。

2 ./ENT を押して決定します

ご注意 メモリーモードではオートスタートが設定されていません。

キートーンON／OFF機能

操作時に鳴るキートーンのON/OFFを設定できます。

操作方法

1 キートーンの設定をします

キートーンの設定をするには、◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を2回押し、次に エンコーダー で【17 KT】を選択し、./ENT で決定します。

エンコーダー を回して ON/OFF を選択します。
エンコーダー を回すたびに、ON → OFF → ON…と切替わります。

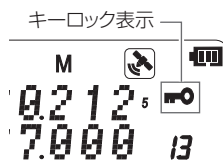
2 ./ENT を押して決定します

キーロック機能

誤動作を防ぐためキーロックを掛けることができます。
キーロックが “ON” 状態ではキーロック “OFF” の操作しか受付けられません。

操作方法

1 キーロックの設定をします

キーロックの設定をするには、◀／MENU を押し、次に 電源 を押します。
操作する度にON→OFF→ON→…と切替ります。
ONの時には “🔑” が点灯します。

初期化機能

すべてのメモリー登録を消去し、工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、メモリーごとに個別に消去することもできます。

(1) 全消去

メモ1～4およびパスメモリー、録音データ、LOG データを全て消去し、工場出荷時の状態にします。

※バンク1～6は消去されません。

操作方法

1 全消去モードに入ります

全消去モードに入るには、◀／MENU を押し、次に VOL／▶ を 2 回押し､次に エンコーダー で【31 ALLCLR】を選択し、./ENT で決定します。

2 ./ENT を押し消去します

./ENT を押すと、登録が消去されます。
消去したくない場合は、CLR を押すか、約 20 秒間無操作が続くと全消去モードを終了します。

(2) メモリーバンク全消去

メモ1～4を初期化します。

操作方法

1 メモリーバンク全消去モードに入ります

メモリーバンク全消去モードに入るには、
◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を２回押し、次に エンコーダー で【30 MEMO ALLCLR】を選択し、 ./ENT で決定します。

2 ./ENT を押し消去します

./ENT を押すと、登録が消去されます。
消去したくない場合は、 CLR を押すか、約１０秒間無操作が続くと全消去モードを終了します。

(3) パスメモリー全消去

パスメモリーを初期化します。

操作方法

1 パスメモリー全消去モードに入ります

パスメモリー全消去モードに入るには、
◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を２回押し、次に エンコーダー で【27 PASS ALLCLR】を選択し、 ./ENT で決定します。

2 ./ENT を押し消去します

./ENT を押すと、登録が消去されます。
消去したくない場合は、 CLR を押すか、約１０秒間無操作が続くと全消去モードを終了します。

録音機能

レシーバーが受信した音声やマイクから録音できます。
録音可能時間は、レシーバー受信音声・マイク音声合わせて 50 分です。
メモ 5 エリア 0 ～ 9 に空いているエリアに順に録音します。

レシーバー受信音の録音方法

（例）羽田空港で受信音声を録音して“ハネダ”と登録する。

操作方法

1 録音モードにする

録音モードにするには、◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を 2 回押し、次に エンコーダー で【02 REC】を選択し、./ENT で決定します。

REC 02

※ ◀／MENU ＋ テンキー 2 でも設定可能です

2 録音する

録音を開始するには、./ENT を押します。
再度 ./ENT を押すと、録音を終了します。

3 名前を登録する

名前を登録するには、BANK／▲ を押してカナ入力を選択し、“ハネダ”と入力して ./ENT を押します。
詳しい入力方法は、37 ページをご覧ください。

REC
ハネダ 00

マイク音声の録音方法

（例）マイクから録音して、“ヨテイ”と登録する。

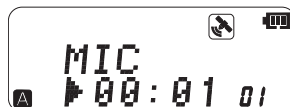
操作方法

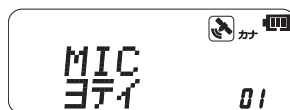
1 マイクから録音する

マイクから録音するには、◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を 2 回押し、次に エンコーダー で【06 MICREC】を選択し、./ENT で決定します。

※ ◀／MENU ＋ テンキー 6 でも設定可能です

2 録音する

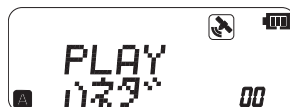
録音を開始するには、［./ENT］を押します。
再度［./ENT］を押すと、録音を終了します。

3 名前を登録する

名前を登録するには、［BANK／▲］を押してカナ入力を選択し、“ヨテイ”と入力して［./ENT］を押します。
詳しい入力方法は、37 ページをご覧ください。

録音した音声を再生する

（例）“ハネダ”と登録した音声を再生する。

操作方法

1 再生モードにする

録音した音声を再生するには、［◀／MENU］を押し、次に［VOL／▶］を押し、次に［エンコーダー］で【PLAY】に合わせ、［VOL／▶］を押し［./ENT］で決定します。

2 録音データを再生する

再生するには、［エンコーダー］を回して【ハネダ】を選択し、［./ENT］で決定します。
再度［./ENT］を押すと、再生を一時停止します。

※再生中に再生モードを終了するには［CLR］を２回押してください。

録音したデータの名前を変更する

（例）“ハネダ”と登録したデータ名を“ハネダ AR”に変更する。

操作方法

1 データ名変更モードにする

データ名変更モードにするには、［◀／MENU］を押し、次に［VOL／▶］を押し、次に［エンコーダー］で【PLAY】を選択し、［VOL／▶］で決定します。
続いて［エンコーダー］で【52　RECORD RENEME】を選択し、［./ENT］で決定します。

2 データ名をを変更する

エンコーダー を回して【ハネダ】を選択し、./ENT を押し、“AR”を追加して、./ENT を押します。

※詳しい入力方法は、xxページをご覧ください。

録音したデータを個別消去する

（例）“ハネダ AR” と登録した音声データを個別消去する。

操作方法

1 個別消去モードにする

録音した音声を再生するには、◀／MENU を押し、次に VOL／▶ を押し、次に エンコーダー で【PLAY】を選択し、VOL／▶ を押します。
続いて エンコーダー で【53 RECORD CLR】を選択し、./ENT で決定します。

2 消去するデータを指定する

録音データを選択するには、エンコーダー を回して【ハネダ AR】選択します。

3 指定したデータを消去します

録音データを消去するには、./ENT を押します。消去されると、液晶ディスプレイに “NOFILE” と表示され、『録音データを消去しました』とアナウンスします。

※連続消去する場合は **2** ～ **3** を繰り返します。

その他の機能

録音したデータを全消去する

録音したデータを一括で消去できます。

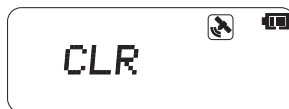
操作方法

1 全消去モードにする

録音した音声を全消去するには、［◀／MENU］を押し、次に［VOL／▶］を押し、次に［エンコーダー］で【PLAY】を選択し、［VOL／▶］を押し、続いて［エンコーダー］で【54 RECORD ALLCLR】を選択し、［./ENT］で決定します。

2 データを全消去する

録音データを消去するには、［./ENT］を押します。消去されると、液晶ディスプレイに“CLR”と表示され、『録音データを全て消去しました』とアナウンスします。

CLR

> ご注意　録音データ全消去時、数分かかることがあります。

使用電池設定

本機は、乾電池または、別売のリチウムイオン電池が使用できます。
電池残量を正しく表示させるために使用電池を設定することをお勧めします。
初期設定はカンデンチです。

操作方法

1　使用電池設定モードにします

使用電池設定をするには、◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を2回押し、次に エンコーダー で【32 BATT】を選択し、./ENT で決定します。

2　使用電池を設定します

使用電池は エンコーダー で選択し、./ENT で決定します。
エンコーダー を回すたびに、使用電池がカンデンチ→ LI イオン→カンデンチ→…と変わります。

その他の機能

ドライブモード操作方法

本機はドライブモードを搭載しています。

ドライブモードに設定すると、GPS受信設定は“ON”に変更されます。

GPS受信設定を“OFF”にすることはできません。

ドライブモードでは、GPS測位結果をもとに、オービスなどの警報を行います。

また下記項目を液晶ディスプレイに表示できます。

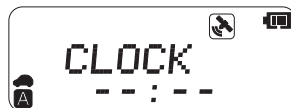
・現在時刻　・受信衛星数　・走行速度　・緯度経度

・ドライブモードにしてからの運転時間・走行距離

ドライブモードに切替えて走行速度を表示する

操作方法

1 ドライブモードにします

[◀／MENU]を押し、[./ENT]を押します。
ドライブモードに切替わります。

ドライブモード中は液晶ディスプレイに“🚗”が表示されます。

2 走行速度表示を指定します

[./ENT]を押して走行速度表示“SPEED”を指定します。

[./ENT]を押す度にCLOCK → TIME → DIST → SATE → SPEED → 緯度経度 → CLOCK → …と替わります。

・CLOCK：現在時刻
・TIME　：ドライブモードに切替えてからの運転時間
・DIST　：ドライブモードに切替えてからの走行距離
・SATE　：受信衛星数
・SPEED：走行速度

ちょっと一言

未測位時はCLOCK・DIST・SATE・SPEEDの表示を行ないません。
GPS受信“OFF”設定中にドライブモードに変更した場合、GPS受信は“ON”に変更されます。
ドライブモードを終了すると、再びGPS受信“OFF”になります。
ドライブモードを終了するには、 1 の操作を行います。

警報・告知動作

本機はGPSデータをもとにオービスの追跡警報を行います。

<オービス警報アナウンス>

オービス種類	ポイントまでの距離	アナウンス		
Hシステム LHシステム ループコイル ﾚｰﾀﾞ‐式オービス	2200	効果音	2キロ先	（※1道路種）（※2オービス種類）に ご注意ください
	1250～800		1キロ先	
	600～400		500メートル先	
	400～200		500メートル以内	
	200未満			メロディ / ブザー

※周囲環境などによりGPS未測位時は警報しません。

ちょっと一言

オービス警告中に CLR 短押しで警報音を消音し、CLR 長押しで追跡を終了します。

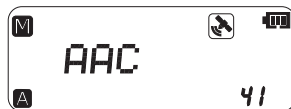
AAC機能の設定

AAC機能とは、オートアラームカットの略で走行速度が時速30km以下の時、警告音を鳴らさない機能です。
初期設定は“ON”です。

操作方法

（例）AACをOFFに設定する。

1 GPS機能設定モードにします

GPS機能設定モードにするには、◀／MENU を押し、次に VOL／▶ を押し、次に エンコーダー で【GPS】を選択し、VOL／▶ を押し ./ENT を押します。

2 AACをOFFに変更します

AACを変更するには、エンコーダー で【AAC OFF】を選択し、./ENT で決定します。。

ご注意 GPS警告中は設定モードに入れません。

その他の機能

道路種の設定

警告する道路種を“City”“Hiway”“ALL”より選択できます。
初期設定は“ALL”です。

操作方法

（例）警告する道路種を一般道に設定する。

1 **GPS 機能設定モードにします**

GPS 機能設定モードにするには、［◀／MENU］を押し、次に［VOL／▶］を押し、次に［エンコーダー］で【GPS】を選択し、［VOL／▶］を押します。
続いて［エンコーダー］で【42 ROAD】を選択し、［./ENT］で決定します。

2 **道路種を一般道に変更します**

道路種を変更するには、［エンコーダー］で【City】を選択し、［./ENT］で決定します。

200 メートル以内警報音の設定

オービス警報 200 メートル以内での警報音を“Buzzer”“Melody”より選択できます。
初期設定は“Buzzer”です。

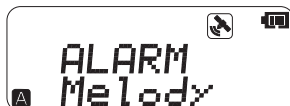
操作方法

（例）警告音をメロディ（運命）に設定する。

1 **GPS 機能設定モードにします**

GPS 機能設定モードにするには、◀／MENU を押し、次に VOL／▶ を押し、次に エンコーダー で【GPS】を選択し、VOL／▶ で決定します。
続いて エンコーダー で【43 ALARM】を設定し、./ENT で決定します。

2 **警報音をメロディに変更します**

警報音を変更するには、エンコーダー で【Melody】を選択し、./ENT で決定します。

その他の機能

GPS 受信の設定

GPS の受信を“ON”“OFF”より選択できます。
初期設定は“ON”です。
ドライブモードでは、設定に関係なく“ON”となります。
GPS 機能が必要ない場合、電池の消費を抑えるために GPS 受信“OFF”設定にすることをお勧めします。

操作方法

（例）GPS受信をOFFに設定する。

1 **GPS 機能設定モードにします**

GPS 機能設定モードにするには、［◀／MENU］を押し、次に［VOL／▶］を押し、次に［エンコーダー］で【GPS】を選択し、［VOL／▶］で決定します。
続いて［エンコーダー］で【44　GPS POWER】を選択し、［./ENT］で決定します。

2 **GPS 受信を OFF に変更します**

GPS 受信を変更するには、［エンコーダー］で【OFF】を選択し、［./ENT］で決定します。

ご注意 GPS受信設定を“OFF”にすると、LOG受信機能（P64）、オートエアモード（P46）は作動できません。

ちょっと一言

GPSとは【Global Positioning System】の略で、アメリカが打ち上げた衛星からの電波を元に自分のいる場所を測位するシステムです、
GPS未測位時は“🛰”が点滅します。GPS測位完了すると“🛰”が点灯します。

オリジナルポイント受信

GPS の位置情報を利用し、任意のポイントで受信周波数を登録すると、登録した位置半径 200m 以内に入ると、登録時と同じ周波数を自動的に設定します。
オリジナルポイントの登録は、20 件登録できます。
ドライブモードでは、オリジナルポイント受信は作動しません。

オリジナルポイントの登録と受信

操作方法

1 登録する周波数を表示する

A バンドを選択し、バンクモード、メモモード、マニュアルモードより、周波数を A バンドに設定します。

2 GPS 測位中にオリジナルポイントを登録する

GPS 測位中にオリジナルポイントを登録するには、"🛰" の点灯中に [◀／MENU] を押し、続けて [VOL ／▶] を 2 回押し、次に [エンコーダー] で【08 POINT ENT】を選択し、[./ENT] で決定します。

M POINT A ENT 08

登録が完了すると、登録 No. が表示され『オリジナルポイントを登録しました。』とアナウンスを行います。

登録NO.

※ [◀／MENU] + [テンキー] [8] でも設定可能です

3 自動受信する

オリジナルポイント半径 200 m以内に入ると、『オリジナルポイントに入りました』とアナウンスを行い、自動で登録した受信周波数に変更します。オリジナルポイントに入ると、"P" が点灯します。

ちょっと一言

受信中に [CLR] を短押しするとオリジナルポイントを解除し、長押しすると消去します。
オリジナルポイントを全消去するには、 [◀／MENU] + [VOL ／▶] + [VOL ／▶] + [エンコーダー]【25 POINT ALLCLR】を選択して [./ENT] で実行します。

ご注意 オリジナルポイント半径200m以内では、スイッチ操作は無効です。操作を行うには、 [CLR] を押して解除または削除を行なってください。

その他の機能

GPS ログ機能

LOG データとは、GPS で得られた情報を元に作成された軌跡データです。パソコンなどを使用することで、Google Maps(TM) や Google Earth (TM) などで軌跡を見ることができます。
ログの保存は、最大 10 ファイル、1 ファイルにつき最大 120 分のLOGデータを保存できます。
ドライブモードでは、GPS ログ機能は作動しません。

LOG データの保存

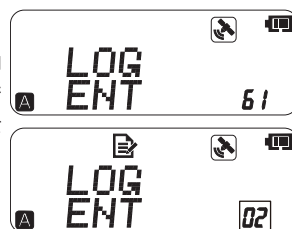
LOG保存エリアのNo.00～09の空いている箇所に保存します。

操作方法

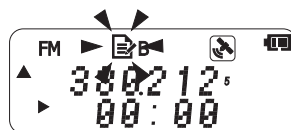
1 LOG の取得モードにする

LOG 取得モードにするには、［◀／MENU］を押し、次に［VOL／▶］を押し、次に［エンコーダー］で【LOG】に合わせ、［VOL／▶］を押し［./ENT］を押します。

続いて［エンコーダー］で【61 LOG ENT】を選択し、［./ENT］で決定します。
決定すると、保存 No. が表示されます。

保存NO.

2 取得を開始する

データの保存を開始するには、［./ENT］を押します。
開始すると、“START” と表示後 “📝” が点滅します。

※取得中に［MEMO／▼］を押すと、データにマーキングが入り、地図表示時に確認することができます。

3 保存を終了します

データ保存を終了するには、［./ENT］を押します。
終了すると “STOP” と表示され、レシーバー受信待受け画面に戻ります。

STOP

ご注意

LOGデータの取得は、GPS 測位完了まで開始できません。
LOGデータの取得を開始すると、バンド操作選択がBバンドとなります。
Bバンド選択中は、通常操作は無効です。
Aバンドを操作するには、Aバンドを選択してから行なってください。(⇒Pxx)

LOG データを Google Earth で表示する

LOG データを使用してパソコンで、Google Maps(TM) や Google Earth (TM) などで軌跡を見ることができます。

操作方法

1 **FC-S789 専用 PC アプリをダウンロードする**

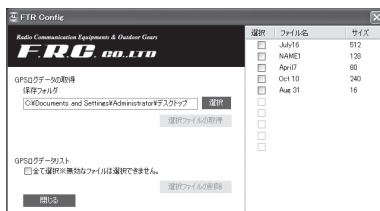
弊社ホームページ（http// xxxxx）よりダウンロードします。

※アプリケーションのデザインは仕様変更などの理由により、
予告なく変更することがあります。

2 **LOG データを KML ファイルに変換する**

① LOG データを KML ファイルに変換するには、市販のマイクロ USB ケーブルを本機とパソコンに接続し、変換ソフトを起動します。

②【GPS ログデータ】をクリックすると、【GPS ログデータ取得】画面が開きます。

③保存フォルダを選択し、保存するファイルのチェックボックスにチェックをいれて、【選択ファイルの取得】をクリックします。

3 **Google Earth に表示します**

Google Earth を起動して、KML ファイルを Google Earth 上にドラッグして軌跡を表示させせます。

LOG データの取得間隔を変える

LOGデータ取得時間間隔を約2秒、約4秒、約10秒から選択できます。

操作方法

(例)LOGデータ取得間隔時間を4秒に変更する。

1 LOG の取得モードにする

LOG 取得モードにするには、◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を押し、次に エンコーダー で【LOG】に合わせ、VOL ／▶ を押します。
続いて エンコーダー で【62 LOG TIME】を選択し、./ENT で決定します。

2 取得時間間隔を選択します

取得時間間隔を変更するには、エンコーダー で【3SEC】に合わせます。
エンコーダー を回すたびに、ディレイ時間が 2 秒→ 4 秒→ 10 秒→ 2 秒→…と切替わります。

3 ./ENT を押して決定します

ご注意　受信状況などにより取得間隔は変動する場合があります。

保存した LOG データの名前を変更する

保存したLOGデータの名前を変更できます。

操作方法

(例)No.02に保存されたLOGデータの名前を "April7" に変更する。

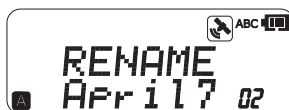
1 LOG データ名変更モードにする

LOG データ名モードにするには、◀／MENU を押し、次に VOL ／▶ を押し、次に エンコーダー で【LOG】に合わせ、VOL ／▶ を押します。
続いて エンコーダー で【63 LOG RENAME】を選択し、./ENT で決定します。

2 **No.02 を選択する**

No.02 を選択するには、 エンコーダー で【02】を選択し、 ./ENT で決定します。

3 **データ名を変更します**

テンキー で“April7”と入力し、 ./ENT を押します。

LOG データを消す

保存したLOGデータを削除します。

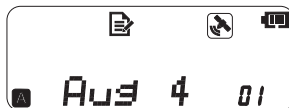
操作方法

（例）No.01 で保存されたLOGデータを削除する。

1 **LOG データ削除モードにします**

LOG データ名モードにするには、 ◀／MENU を押し、次に VOL／▶ を押し、次に エンコーダー で【LOG】を選択し、 VOL／▶ を押します。
続いて エンコーダー で【64 LOG CLR】を選択し、 ./ENT で決定します。

2 **No.01 を選択します**

No.01 を選択するには、 エンコーダー で【01】に合わせます。

3 **消去します**

./ENT を押して消去します。
液晶ディスプレイに“CLR”と表示され、消去が完了すると『LOG ファイルを消去しました』とアナウンスし液晶ディスプレイに“NOFILE”と表示されます。

登録済みの受信エリア

本機に登録済みの受信エリアは以下の通りです。

＜Ａバンドプリセット済みエリア＞

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間 (秒)
1	1	盗聴電波　9チャンネル	VHF 帯 /UHF 帯	5	FM	6
	2	盗聴電波　全チャンネル	VHF 帯 /UHF 帯	5	AM/FM	6
	3	小電力コードレス電話	380.2125 ～ 381.3125	12.5	FM	6
	4	アマチュア無線	VHF 帯 /UHF 帯 144.0000 ～ 146.0000 430.0000 ～ 440.0000	20	FM	6
	5	パチンコ無線 業務無線 （ファーストフード等）	421.5750 ～ 422.3000 440.0250 ～ 440.3625	12.5	FM	6
			322.0250 ～ 322.4000	25		
	6	ギャンブル無線	149.2900 ～ 154.6100	10	FM	6
			348.5625 ～ 468.8125	12.5		
	7	レース無線 サーキット無線	423.0000 ～ 424.1750	12.5	FM	6
			154.6100	10		
			414.7500 ～ 468.8125	12.5		
	8	コンサートワッチ	322.0250 ～ 322.4000	25	FM	ホールド
	9	各種業務無線 簡易無線	148.7700 ～ 159.0500	10	FM	6
			348.5625 ～ 469.7500	12.5		
	0	警察高速隊	814.0250 ～ 814.5000	25	FM	6
2	1	カーロケーター無線	407.7250	12.5	FM	オート
	2	交通取締連絡無線	350.1000	12.5	FM	6
	3	警察 VHF 移動局 （パトカー無線）	159.2750 ～ 160.5750	25	FM	オート
	4	警察部隊活動系	162.0500 ～ 162.6000	25	FM	オート
	5	警察署活系移動局	347.7125 ～ 362.2500	12.5	FM	オート
	6	取締特小無線 （シートベルト）	422.2750 ～ 422.3000	12.5	FM	オート
	7	ヘリコプター無線 （警察・消防・マスコミ）	122.3000 ～ 135.9500	25	AM	6
			340.7000 ～ 399.6500	12.5	FM	
	8	レッカー無線	154.4700 ～ 154.6100	10	FM	6
			465.0375 ～ 468.8375	12.5		
	9	検問モード	バンクＢ　エリア１～８	ー	ー	ー
	0	道路公団・JAF・警備	148.7700 ～ 154.0300	10	FM	6
			357.3500 ～ 450.2375	12.5		

※ホールドとなっている受信エリアはディレイ時間が「HOLD」に設定してあります。
※オートとなっている受信エリアはオートスタートが２秒に設定してあります。

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間 (秒)
3	1	パーソナル無線	903.0375 ~ 904.9875	12.5	FM	6
	2	パチンコ無線 ファーストフード店等の業務無線 (特定小型省電力トランシーバー) (ラジオマイク　C 型)	421.5750 ~ 422.3000	12.5	FM	ホールド
			440.025 ~ 440.3625			
			322.0250 ~ 322.4000	25		
	3	レース無線 ビット無線 サーキット無線 全国レース場 鈴鹿・富士他	65.3900 ~ 168.8700	10	FM	6
			364.9500 ~ 469.9750	25		
			164.6100 ~ 166.1300 462.5600 ~ 467.7200	10	WFM	
	4	MCA　業務無線 800MHz 帯	65.0300 ~ 74.4750	―	FM	6
			143.2600 ~ 158.3500			
			364.7500 ~ 467.3750			
	5	MAC　業務無線 900MHz 帯	118.0000 ~ 142.0000	50	AM	6
			225.0000 ~ 368.2000	100		
	6	航空無線	146.8000 ~ 158.3500	10	FM	6
	7	航空機公衆電話	143.5000 ~ 158.3500	10	FM	6
			364.7500 ~ 466.1625	12.5		
	8	航空軍用 アメリカ軍・自衛隊専用	146.0400 ~ 158.3500	10	FM	6
	9	陸上自衛隊 海上自衛隊	143.4000 ~ 158.3500	10	FM	6
			364.7500 ~ 365.1500	12.5		
		航空自衛隊 基地内連絡波	341.4500 ~ 399.6500			
	0	消タクシー無線	142.300 ~ 158.3500	10	FM	6

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間（秒）
4	1	バス・鉄道	142.1800～142.9200	10	FM	6
			143.8000～143.9800	20		
			146.1800～159.1700	10		
			336.0375～352.6250	12.5		
			352.6500～352.7500	25		
			364.3250～415.2000	12.5		
		電力・ガス・水道（ライフライン）	65.0300～73.0950	5		
			146.0200～159.0900	10		
			364.5250～385.1500	12.5		
	2	ＦＭラジオ放送	76.1000～89.9000	100	WFM	ホールド
	3	報道連絡波	65.3900～168.8700	10	FM	6
			364.9500～469.9750	25		
			164.6100～166.1300 462.5600～467.7200	10	WFM	
		特定小電力トランシーバー	421.5750～440.3625	12.5	FM	
	4	防災行政無線	65.0300～74.4750	―	FM	6
			143.2600～158.3500			
			364.7500～467.3750			
	5	航空無線	118.0000～142.0000	50	AM	6
			225.0000～368.2000	100		
	6	消防・救急（北海道地区）	146.8000～158.3500	10	FM	6
		消防電話・消防ヘリ	341.4500～399.6500	12.5		
		消防署活系	466.4375～466.5500			
	7	消防・救急（東北ー北陸地区）	143.5000～158.3500	10	FM	6
			364.7500～466.1625	12.5		
		消防電話・消防ヘリ	341.4500～399.6500			
		消防署活系	466.3500			
	8	消防・救急（関東ー東海地区）	146.0400～158.3500	10	FM	6
		消防電話・消防ヘリ	341.4500～399.6500	12.5		
		消防署活系	466.3500～466.5500			
		新救急無線（移動局）	371.1750～371.4125			
		東京消防庁（基地局）	395.2750～395.5125			
	9	消防・救急（中部ー近畿地区）	143.4000～158.3500	10	FM	6
			364.7500～365.1500	12.5		
		消防電話・消防ヘリ	341.4500～399.6500			
		消防署活系	466.3500～466.5375			
	0	消防・救急（四国ー中国ー九州地区）	142.300～158.3500	10	FM	6
			365.1500	12.5		
		消防電話・消防ヘリ	341.4500～399.6500			
		消防署活系	466.3500～466.5500			

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間（秒）
5	1	AIRPORT マニュアル設定				6
	2	東京国際空港				6
	3	成田国際空港				6
	4	横田飛行場				6
	5	厚木飛行場				6
	6	入間飛行場				6
	7	立川飛行場				6
	8	関西国際空港				6
	9	中部国際空港				6
	0	AUTO AIRPORT				6

＜ B バンドプリセット済みエリア＞

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間（秒）
6	1	カーロケーター無線	142.1800 ～ 142.9200	10	FM	6
	2	交通取締連絡無線	76.1000 ～ 89.9000	100	WFM	ホールド
	3	警察 VHF 移動局（パトカー無線）	65.3900 ～ 168.8700	10	FM	6
	4	警察部隊活動系	65.0300 ～ 74.4750	—	FM	6
			143.2600 ～ 158.3500			
	5	警察活動移動局	118.0000 ～ 142.0000	50	AM	6
	6	特定小電力	146.8000 ～ 158.3500	10	FM	6
	7	ヘリコプター無線（警察・消防・マスコミ）	143.5000 ～ 158.3500	10	FM	6
			364.7500 ～ 466.1625	12.5		
	8	レッカー無線	146.0400 ～ 158.3500	10	FM	6
			341.4500 ～ 399.6500	12.5		
	9	検問モード	143.4000 ～ 158.3500	10	FM	6
			364.7500 ～ 365.1500	12.5		
			341.4500 ～ 399.6500			
			466.3500 ～ 466.5375			
	0	道路公団・JAF・警備	142.300 ～ 158.3500	10	FM	6
			365.1500	12.5		

故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の内容をお確かめください。

症状	原因	処置
電源が入らない	・電池が消耗している	→ 新しい電池に交換する
	・シガープラグが奥まで入っていない	→ 一度抜いてから押し込む
受信しない	・音量が低い	→ 音量設定を調整する
	・イヤホンが接続されている	→ イヤホンを抜く
音声が途切れる	・受信電波が弱い	→ 受信状態が良い場所に移動する
	・アッテネーターがＯＮになっている	→ アッテネーターをＯＦＦにする
	・スケルチの設定が高い	→ スケルチの設定を調整する
受信音声がおかしい	・受信モードが違う	→ 受信モードを切り替える
信号音を受信する	・制御信号やデジタル通信を受信している	→ 音声での受信はできません
オートサーチが止まらない	・スケルチの設定が高い	→ スケルチの設定を調整する
GPS 衛星を受信しない	・周辺に電波を遮断するものがある	→
GPS 警報をしない	・オービス以外のカメラだった ・道路種の設定があっていない ・衛星を受信していない	→

その他

主な仕様

●電源電圧	ＤＣ９Ｖ　単四形乾電池６本 ＤＣ１２Ｖ　外部電源
●消費電流	待機時 130ｍA　最大 200ｍA（DC12V）
● GPS 受信方式	パラレル 33ch
●受信周波数	A バンド 65 MHz ～ 470.0 MHz　770MHz ～ 1300MHz B バンド 134 MHz ～ 174MHz　200MHz ～ 260MHz 320MHz ～ 470MHZ
●受信電波形式	ＡＭ／ＦＭ／ＷＦＭ
●周波数ステップ	5/6.25/10/12.5/20/25/50/100KHz
●メモリー数	チャンネルメモリー　最大 800 チャンネル エリアメモリー　最大　10 エリア パスメモリー　最大 100 チャンネル プログラムメモリー　最大　10 エリア
●アンテナインピーダンス	５０Ω
●受信感度	AM　4dBuV FM　-10dBuV WFM　0dBuV
●動作温度範囲	－ 10℃～＋ 60℃（一部動作は除く）
●外形寸法	62（W）× 99.5（H）× 36（D）/ mm（突起部除く）
●本体重量	147 g

オプション（別売品）

型　番	品　名	JAN コード
FBC-117Li	Li-ion バッテリーパック 1200mA	JAN4515287-008350
FBC-117	急速充電器	JAN4515287-008367
FA-117	アンテナ	JAN4515287-008336
FA-100	マグネットアンテナ基台	JAN4515287-008381
DC-3	DC コード（3ｍ）	JAN4515287-007353
AC-1	AC アダプター	JAN4515287-007377

◇ 保証規定

● 保証期間内（お買い上げ日より１年間）に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。

● 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

● 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。

（イ）使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
（ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、公害、異常電源（電圧、周波数）およびその他天災地変による故障および損傷。
（ニ）保証書のご提示がない場合。
（ホ）保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。

● 本保証書は、日本国内において有効です。

◇ 保証・アフターサービスについて

● 保証期間は、お買い上げ日から１年間です。
保証書は、必ず「**お買い上げ日、販売店**」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 修理を依頼されるときは、操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理を依頼してください。

● 保証期間中は：
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参ください。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは：
お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

※あらかじめご承知いただきたいこと

修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

保　証　書

この製品は、厳正な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄にご記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

※製品名 GPS 搭載ワイドバンドレシーバー　**FC － S789**	
※保証期間 ※お買い上げ年月日　　年　　月　　日から **1年間**	
お客様	ご住所 TEL（　　　　）　　－
	お名前
※販売店	販売店の住所　〒　　－ TEL（　　　　）　　－

株式会社　エフ・アール・シー

〒 194-0035　東京都町田市忠生 4-11-8

お問合せ先　MAIL:support@frc-net.co.jp
TEL:042-793-7746
FAX:042-793-7742

CD-40348